

とき：
2024年

11月

3日

10:00~16:00

ところ：旧長崎街道

木屋瀬宿

筑前各地の伝承盆踊りの祭典! **筑前各地の伝承盆踊り** ※裏面参照

- ・木屋瀬宿場をどり
- ・直方の日若踊り
- ・植木の三申踊り
- ・野面の盆踊り
- ・下大隈の里踊り
- ・前田の盆踊り
- ・遠賀の思案橋踊り

- ◆ 木屋瀬宿町並み案内 木屋瀬のことがよくわかる!
※ 町並みガイドまんがわかりやすく木屋瀬をご紹介します。
- ◆ 木屋瀬中学校吹奏楽部マーチング・演奏会
(マーチング・東構口→西構口)
- ◆ 伊馬春部生家 収蔵品展
- ◆ 町並み資料館 (井上家、高野家、梅本家、松尾家)
- ◆ 街道青空市・蚤の市
- ◆ 大道芸 (街道にて随時開催)
- ◆ 地震体験車 [10:00~11:30] } 試乗・展示
消防はしご車 [13:30~14:30] } (旧高崎家駐車場)
※先着順・人数制限有

主なイベント

- ◆ 門司の楠原踊り (須賀神社境内踊り会場)
- ◆ 北九州市消防音楽隊による演奏
- ◆ 鞍手町創作太鼓R-2 ◆ 津軽三味線
- ◆ 木屋瀬宿スタンプラリー
※ 本部前街道にて受付 10:00~14:00
- ◆ 木屋瀬保育園児の絵画展示 (本部前街道)
- ◆ こやのせ座 今昔写真展
- ◆ みちの郷土史料館
企画展『街道のかみさま~長崎街道の信仰と神事~』

5八幡西区制50周年記念

第30回 筑前木屋瀬

宿場まつり

ウラ面にプログラムと各踊りの紹介を掲載しています



みんなで踊ろう 宿場まつり

特別企画 国指定重要無形民俗文化財 英彦山津野神楽・豊前三毛門神楽

前回好評だった英彦山津野神楽に加え、今回は特別企画として豊前三毛門神楽も来演。伝統神楽が木屋瀬の地で華麗な舞を披露しますのでお楽しみに!(会場 こやのせ座)

青空市・蚤の市同時開催!

地元出店者やキッチンカーなど数多くのグルメや雑貨のお店が旧長崎街道沿いに並んでまつりを盛り上げます! お買い物もごゆっくりお楽しみください!

当日、東構口跡~西構口跡の間は午前9時から午後4時まで歩行者専用道路となります。また、自転車の乗り入れも禁止になります。
※ 自転車でご来場の際は西構口の駐輪場をご利用下さい。

- 木屋瀬宿 までの交通アクセス**
- 九州自動車道 八幡I.C.から車で約10分
 - JR筑豊本線 筑前植木駅下車 徒歩約15分
 - 北九州都市高速 馬場山ランプから 車で約10分
 - 筑豊電鉄 木屋瀬駅下車 徒歩約5分

2024年 第30回「筑前木屋瀬宿場まつり」プログラム

9:00から 東構口～西構口の車両通行止め開始

須賀神社 境内	本部・記念館広場	こやのせ座(ステージ)	雨天時プログラム (こやのせ座ステージ)
	10:00 スタンプラリー受付 (10:00～14:00) 消防音楽隊・カラーガード隊		10:00
	10:30 開会式		10:30 開会式
11:00 木屋瀬中学校マーチング・クラブ活動紹介(東構口～西構口)			
	11:20 木屋瀬宿場をどり総踊り (本部前街道)		11:50 木屋瀬中学校 吹奏楽部
12:00 直方の日若踊り	12:00 木屋瀬中学校吹奏楽部		
12:20 木屋瀬子ども宿場をどり			
12:40 下大隈の里踊り		12:40 津軽三味線	12:40 津軽三味線
13:00 植木の三申踊り		13:00 英彦山 津野神楽(第一部)	13:00 英彦山 津野神楽 (第一部)
13:20 遠賀の思案橋踊り	13:10 津軽三味線		
13:40 野面の盆踊り			
14:00 木屋瀬宿場をどり	14:00 鞍手町創作太鼓 R-2	14:00 英彦山 津野神楽(第二部)	14:00 英彦山 津野神楽 (第二部)
14:20 門司の楠原踊り			
	14:30 赤・青綱引き(本部街道前)		
14:40 前田の盆踊り		14:50 豊前 三毛門神楽	14:50 豊前 三毛門神楽
	15:00 宿場をどり練習 歴史クイズ		
	15:40 木屋瀬宿場をどり総踊り (本部前街道)	宿場まつりの締めくくり、 みんなで盛大に踊りましょう!	15:40 木屋瀬宿場をどり総踊り
	15:55 閉会式		15:55 閉会式

16:00 東構口～西構口の車両通行止め解除

※ 駐車場は表面地図記載の各駐車場をご利用下さい。路上駐車はご遠慮下さい。

※ 雨天の場合はプログラムを変更して、こやのせ座で行います。また、一部イベントは雨天中止となります。

各地伝承踊りの紹介

(順不同)

直方の日若踊り 直方日若踊り保存育成連合会 福岡県指定無形民俗文化財
東蓮寺藩の城下町・直方に伝承される盆踊りで、その昔、多賀神社(日若宮)に伝わった日若謡・日若舞の流れを汲むと伝えられ、素朴な「思案橋」と優雅な「本手」とがごございます。

下大隈の里踊り 下大隈里踊り保存会
「下大隈里踊り」には「思案橋」「汐汲み」通称「傘踊り」、「川船」があり、江戸末期に流行した「芦屋歌舞伎」の流れを汲んだ優雅な踊りで二百年以上の歴史と伝統を有しています。

植木の三申踊り 植木三申踊り保存会 福岡県指定無形民俗文化財
空也上人を始祖とする念仏踊りに、江戸時代、地方歌舞伎の一団として知られた植木役者が歌舞伎・長唄の手振りを加えたものと伝えられ、本手・思案橋とがごございます。

遠賀の思案橋踊り
思案場所踊(思案橋ともいう)は、江戸中期に芦屋の歌舞伎役者が遠賀川沿いへ伝えたとき、百余年の歴史を持つ。今もなお、盆の夜には西光寺に集い踊り、先祖の霊を慰める。素朴な踊りは、地域の伝統として大切に受け継がれています。

野面の盆踊り 野面盆踊り保存会 北九州市指定無形民俗文化財
中間の盆踊りの流れを汲むと伝えられ、「夏はほたる」「奴」「うつつ白浪」があり、移動の際は、じぶたいを先頭に、大傘、踊り手の順で道離子を奏じます。

門司の楠原踊り 楠原踊り保存会 北九州市指定無形民俗文化財
江戸時代から続く雨乞いの踊りで、甲宗八幡神社の秋祭で奉納されています。優雅な所作が特徴で、かつては地謡と狂言も交えられていましたが、現在は地謡のみが残り、干ばつに苦しんだ人々の願いが込められています。

前田の盆踊り 前田盆踊り保存会 北九州市指定無形民俗文化財
「みちのく」と「思案橋」があり、明応年間、大内氏に攻められた麻生花尾城兵の戦死者を弔うため、その子孫や村人が踊り始めたと伝えられ、大原女と同様の支度で踊られます。

木屋瀬宿場をどり 木屋瀬宿場踊り振興保存会 福岡県指定無形民俗文化財
享保年間、土地の数寄者たちがお伊勢参りの土産にと習い戻った伊勢音頭に、大名行列共奴(ともやっこ)の仕草やかけ声も取り入れられたものと伝えられ、「並み手」「みやこ」「本手」とがごございます。花に踊り、月に踊り、雪の宴にも踊られて三百年、今日に至って居ります。

英彦山 津野神楽 国重要無形民俗文化財
津野神楽は、高木神社の神幸祭に奉納される神楽で二日間にわたって奉納される伝統芸能です。色鮮やかな衣装や飾りを身にまとった厳かな雰囲気の中にも華やかさがあります。豊前一带に分布している岩戸神楽のひとつで、2017年に、国の重要無形民俗文化財に指定されました。

豊前 三毛門神楽 国重要無形民俗文化財
豊前六神楽の一つとされる三毛門神楽は、いにしえより伝わる神事で、鬼神を祓う剣舞や大蛇を退治する勇壮な姿は、漁村の豪胆さを映し出します。新作の神楽も加わり、古き伝統を守りつつ伝承に取り組んでいます。

◎15:40【宿場をどり総踊り】は自由参加ですので、みんなで盛り上がりましょう!!